

事業所における自己評価結果 (公表)

公表: 令和 5年 1月 30日

事業所名 ほしのこ中央

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			東京都の規定では児童1人あたり4㎡になっています。当事業所の指導室は、60.17㎡あり基準を満たしています。
	②	職員の配置数は適切である	○			東京都の規定では児童5名に対し1名以上になっています。当事業所は、管理者兼児童発達管理責任者1名と指導員3名が配置されています。全職員が有資格者となっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		2階に事業所がある為階段を登らなければならないですが、手すりはついています。教室内のロッカーや下駄箱の角などは怪我防止の為、コーナーガードを当てて対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎朝職員ミーティングを行い、前日の児童の振り返りやその日に利用する児童の情報、連絡事項の共有、活動の内容を話し合い実行しています。必要に応じて改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の方から頂いた意見を参考に、業務の改善に繋げています。また、HPIに公開し、返答を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自己評価の結果は、本社HPとHUGにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		姉妹教室と連携をはかりながら会議や書類巡回を行い業務の改善を図っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修だけでなく、社外研修にも積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			モニタリング実施期間に合わせて年2回行っており、児童発達支援管理責任者、保護者の方の意見のみではなく、児童指導員からの意見を合わせ、多角的な視点から作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			モニタリング毎にアセスメントシートを取り直し、現状のニーズを把握できるようにしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			季節のイベントやこんなことがしたいについてミーティングで何が必要かを話し、個別に考えた案を出し合って決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童の様子に合わせてレベルの調整をしたり、同じことを繰り返さないようにするとともに、運動だけでなく、静かな活動(微細やSST等)を行い、児童が飽きないようにしています。また、季節や行事を感じる言葉や内容を活動に取り入れたり、読み聞かせを行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇や休日等は平日に取り組みないことも取り入れる様にしています。最近はずっと戸外活動も行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動を中心に、児童の課題を検討し優先順位を決めた上で必要な支援計画を作成しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングの際に確認をしておりますが、状況や場面に応じて臨機応変に支援することを心掛けています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			重要なことに関しては当日のうちに共有をしています。次の日の朝にミーティングを行い、保護者からの連絡事項やヒヤリハットなど職員全員で共有するようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援終了後に当日の記録を必ずのこしています。また、HUG導入に伴い、写真を添付する等保護者の方が状況をイメージしやすいような記録を心がけています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に1度モニタリングを実施し、児童に必要な課題を保護者・児童発達支援管理責任者・指導員ですり合わせながら見直しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインの基本活動を組み合わせたり、精神科医推奨の独自の運動プログラムを取り入れ支援を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			障害児相談支援事業所との担当者会議については、児童発達管理責任者及びニーズに応じた指導者が対応しており、役職のついた職員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			学校との情報共有は、基本保護者を通じて行っていますが、緊急性があることは学校と直接連絡をとる場合もあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	重症心身障害児以外を対象としている為、該当者なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			姉妹教室を通じて児童発達支援時の様子の情報共有と相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	現在該当する児童はいませんが、今後必要に応じて対応していきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			サポートセンターと連絡をとったり、児童発達支援センター主催の研修に参加させてもらっています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	例年であれば、夏祭りなどの行事やおでかけ療育を実施していましたが、今年度はコロナ禍で行っていません。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○			ネットワーク会議に参加し他事業所との情報共有をしており、児童の多角的支援が行えるように努めています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			児童引き渡し時に相互の情報共有を行っています。また、HUGで1日の様子を公開しています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			個別相談支援やグループ相談支援を行い保護者の悩み事に助言をさせて頂いています。また、保護者会やグループ相談等から保護者通しでも悩みの共有ができる場を設けています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にお話しています。また、変更時には再度書面でお伝えし、捺印を頂いています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			個別に相談支援を行ったり、グループ相談支援を行い、相談する場を設けています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			ほしのこグループとして、人数制限や日程を増やす、広い会場で行う等工夫をさせて頂きながら保護者会を開催することが出来ました。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合には真摯に受け止め、組織で共有・協議の上、迅速かつ適切に対応させて頂きます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HUGの活動記録やSNSを活用し、日頃の様子を発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意している	○			個人情報は鍵付き書庫に保管しています。契約時に同意いただいた他事業所との連携・照会、緊急時における医師への情報提供、事故発生時における関係機関への情報提供を目的として使用させて頂いております。それ以外の目的で外部へ流出することはありません。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			活動の説明時等はお手本を提示しながら行い視覚的に伝える事を多くしたり、具体的に児童の話聞くようにしています。保護者とはHUGの導入で保護者とやり取りの幅が広がっています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	今年度は、コロナ禍で行っていません。
非常時等の対応	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		各マニュアルを策定し、ファイルに保存しています。保護者の方には希望があれば対応させて頂いています。
	④⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			1年に2回以上実施し、SNSやHUGにてその時の様子を発信しています。
	④⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			社内外の研修に参加し、研修を受けた職員はフィードバックをして共有をしています。また、虐待防止委員会も編成され虐待を見逃さないよう会議をしています。
	④㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明を行い、同意書に捺印を頂いています。
	④㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食物アレルギーのある児童は、同意書に一筆頂き、おやつを持参を協力してもらっています。
	④㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリが起きた際の状況、今後の対応など記録を残し、1カ月ごとにまとめて考察と反省を行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
--	--------	----	---------------	-----	----------------

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。